

第9回全国和牛能力共進会へ

「百合太号」出場決定



第9回全国和牛能力共進会へ出場する「百合太号」

7月31日、第9回全国和牛能力共進会への出場がかかった鹿児島県最終予選会が始良中央家畜市場で行われました。

予選会では、本町選出8頭を含む県内の代表候補牛88頭が各部門で日頃の調教・運動などにより磨かれた牛の能力を競いました。

審査の結果、本町から徳重和牛人工授精所の「百合太号」が

第7区（総合評価群・肉牛群）の県代表に選ばれました。

この第7区に選出された牛（7頭）の父牛は、徳重和牛人工授精所で飼養されている種雄牛「百合茂号」です。

全国和牛能力共進会は、5年毎に開催されることから和牛のオリンピックといわれ、全国の畜産農家が各県の名誉を懸けて、優良牛の能力を競います。

今年10月に鳥取県で開催され、県代表として出場する「百合太号」の活躍が期待されます。なお、僅差で惜しくも全共への出場は逃されましたが、この予選会に出場された方は次のとおりです。（敬称略）

徳重真生

（たかみ号・ふくはな5号・たかこ7号）

下田千尋（このみ号）

東英二郎（はるこ号）

西健一（みゆり号）

羽子田ひとみ（ゆきの号）

薩摩中央高校3年
大園良平さん

全共和牛審査競技会へ出場

薩摩中央高等学校生物生産科3年の大園良平さん（山崎在住）が、今年10月に鳥取県で開催される第9回全国和牛能力共進会の「和牛審査競技会（高校の部）」へ県代表として出場されます。

大園さんは、5月23日に鹿児島中央家畜市場で行われた鹿児島県学校農業クラブ連盟家畜審査競技会に参加し、優秀な成績を修め、審査競技を競った県内32人の高校生の中から県代表として選ばれました。「最優秀賞を狙うつもりで頑張りたい」と話す大園さんの全国大会での活躍が期待されます。



全国和牛審査競技会へ向けて励む大園良平さん